

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			現状の人数では適切に利用できている。利用者が増えてきた時には工夫を行う必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			現状では対応できている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーターの設置や、出入り口の段差を無くしており、車いす等の利用もスムーズにできるようになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティング等を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のアンケートを活用し、改善策を考えていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			評価結果はホームページ等で周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在行っていない。 今後検討していく必要がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内での研修の情報共有や、社内の研修機会を活用している。また、他の教室と交流を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談などで保護者からあげられたニーズを基に、利用者の年齢や環境を考え計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			今後、アセスメントツールを活用するための勉強会等を計画していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			指導員間で連携を取り合い、活動プログラムに幅が持たせられるように計画を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況に合わせて活動を工夫したり、月 1 回のイベントが固定化されないように工夫を行ったりしている。

⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			保護者と連携を取り合いながら、課題を設定している。今後長期休暇に応じた課題の設定などについて計画を考えていく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本は個別での活動であるが、イベントなどで、集団で行っていく活動を計画している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職長などでミーティングを行い、活動内容の確認を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用者の様子や反応などをミーティングで共有するようにしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			指導員の間で確認を行い、支援の改善につながるよう取り組んでいる。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを行い、保護者からの要望を確認し、支援計画の見直しを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			利用者に応じて、複数の活動を組み合わせた支援を計画し、行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			利用者の状況について理解ができている担当者が参加するように計画をしていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話等で、定期的に連絡を取り合うようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、配慮が必要な利用者がおられない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			発達支援センター等と連絡を取り合い、利用者の状況把握に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、そのような状況にある利用者がおられない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現時点では、連携の姿勢はあるが実施できていない、今後勉強会等を持っていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近隣の児童館などに挨拶などは行っている。交流に関しても今後検討していきたい。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の連絡協議会などに参加をしている。	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後のフィードバック内で、利用者の状況等を確認しあっている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現時点では参加していただける保護者の方が少ないので、利用者が増えてくる中でイベントとして計画していく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約内容の説明の際や、支援後のフィードバックなどを利用して説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援後のフィードバックの際などに保護者から話を聞き、助言を行っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			イベント時に保護者通しが交流するような機会を設けている。 今後、保護者のニーズに沿うような交流の機会を計画していく必要がある。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			シートなどを作成し対応できるようにしている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ等を活用し、イベントなどの情報をお知らせしている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関する書類やパソコン等は、鍵のかかる場所で保管をしている。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			分かりやすい言葉かけを行うようにしている。また、情報が伝わっているか確認を取るようにしている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できるようなイベントは実施できていない。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルシートを作成し、保護者には契約時に説明を行っている。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			マニュアルシートを作成し、定期的に研修を行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を行っている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供を行っていない。

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		マニュアルシートを作成し、対応できる姿勢を取っている。
----	----------------------------	---	--	-----------------------------

### 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 30 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」寝屋川校 保護者等数（児童数）5 回収数 5 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	5			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	4			イベントが月に1回企画されている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			今のところ機会がなく分からない。
保護者への	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5			支援後に時間を取りきちんと説明されており、安心している。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5			

説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			4	保護者同士の連携がまだない。 ※保護者の交流の機会を他校舎と連携しても受けられるように目指していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	5			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	4		必要な訓練がまだできていない。 ※利用者も参加する訓練が実施できていないため、今後そのような機会も設けていく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5			当事業所に慣れてきており、色々な活動ができて楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	5			

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。